

満州事変前後の
当地の実態を、
東亜同文書院生が活写

藤田佳久 編著

満州を駆ける

東亜同文書院 中国調査旅行記録 第五巻 不二出版

体裁——A5判・上製・函入総六〇八頁

定価——本体八、〇〇〇円＋税

二〇一一年二月刊行

ISBN 978-4-8350-6838-1

一九〇一年、日中間の貿易実務担当人材を養成する目的のビジネススクールとして、当時の国際都市、上海の地に誕生した東亜同文書院。書院生は中国本土や満州、東南アジアの各地を巡る「大旅行」と呼ばれる調査旅行を行い、詳細な報告書や調査旅行日誌などを記すことにより、膨大な量の地域情報を半世紀にもわたって蓄積し続けた。その記述内容は中国の総合的研究ともいえるべく、商慣習や経済関係・教育・歴史・文化・民俗など幅広い領域にわたる。「東亜同文書院・中国調査旅行記録」（全5巻）の最後を締めくくる本巻では、一九二〇年代末から一九三〇年代前半の満州、とりわけ満州事変の直後の二年間に書かれた記録に焦点をあて、調査旅行日誌はじめ、調査旅行報告書「北満農業調査」や満州・県別調査旅行報告の記録、解題を収録する。

東亜同文書院の「大旅行」は、各自の設定した調査テーマの調査報告書と全体の「大旅行」の調査旅行日誌からなる。本巻では第一部として調査旅行日誌を六編、調査報告書を第二部として一編、第三部として県調査を四編編集・収録した。第三部の四編の各県調査は県レベルでの現地調査である。二年間で約一〇〇県、三年目も一七県の調査を行っており、合計一〇〇県を超える数の中からわずかに四県しか収録出来ないのは残念である。生原稿はそれぞれ力作が多く、紙幅をかなり占めるため、わずかに四編ではあるが、どのような調査が行なわれたかについてはうかがい知ることが出来る筈である。

なお、第二部の「北満農業調査」は、従来型のテーマ別調査報告書で卒業論文の作品になったものである。他にも多くの調査報告書があるが、その中から当時最もフロンティアゾーンとなっていた北満州で、それも北満州に移り住み始めた漢民族の農民による農業の実態を情報量の少ない中で観察や聞き取り、満鉄や地元の資料などによって明らかにしようとしたものである。これによって調査報告書の一端をうかがい知ることができる。

以上述べたように、本巻で満州事変前後の満州の実態を書院生の調査旅行日誌の生き生きとした活写と調査旅行報告書の説得ある記録から理解していただけたら幸いである。

藤田 佳久

第一部 満州大調査旅行日誌の記録

- 第一章 調査旅行日誌（一九二八年、昭和三年）
- 第二章 調査旅行日誌（一九三〇年、昭和五年）（抄）
- 第三章 調査旅行日誌（一九三二年、昭和七年）（抄）
- 第四章 調査旅行日誌（一九三三年、昭和七年）（抄）
- 第五章 調査旅行日誌（一九三二年、昭和七年）（抄）
- 第六章 調査旅行日誌ノ付記「旅行後記」（一九三三年、昭和七年）

第二部 満州調査旅行報告書「北満農業調査」

北満農業調査（一九二九年、昭和四年）

第三部 満州・県別調査旅行報告の記録

- 第一章 黒竜江省阿城縣（一九三三年、昭和八年）
- 第二章 吉林省琿春縣（一九三三年、昭和八年）
- 第三章 黒竜江省富錦縣（一九三三年、昭和八年）
- 第四章 吉林省汪清縣調査報告書のうち「風俗及民度」（一九三三年、昭和八年）

第四部 『満州を駆ける』をめぐる

- 第一章 東亜同文書院の満州大調査旅行
- 第二章 東亜同文書院生の記録からみた二〇世紀初期の満州における農地開発に関する研究

あとがき

本文組見本・90%に縮小

第一章 調査旅行日誌（一九二八年、昭和三年）

出発

昭和三年五月三十日 晴
朝七時、同学生に送られて憧れの大旅行のスタートを切る。

朝霧に煙るフレンチタウンを自動車は今まっしぐらに馳せている。眼の廻る様な準備に忙殺されていた日から漸く放たれた様な気持ち、歓呼、拍手、爆竹、感激そうした想いを乗せて自動車は大連港碼頭に着いた。
午前九時出帆の大連丸に四、五班と一緒に乗込んだ。
副院長、教頭、馬場先生方同学の人々が見送って下さった。



図 1-1-1 本章のコース図

第一章 調査旅行日誌（一九二八年、昭和三年）

東亜同文書院
中国調査旅行記録

●全5巻

第1巻 中国との出会い

- 一 「中国との出会い」をめぐる……藤田佳久
- 二 芝罘・威海衛(山東半島)旅行記(一九〇二年)……筆者不詳
- 三 河南湖廣線コース日記(一九〇八年)
- 四 河内・雲南・四川コース日記(一九〇一年)……賀来敏夫
- 五 試行期における中国調査旅行日記の現代的意義……藤田佳久
- (付) 日記記録者紹介(石川仁平氏/賀来敏夫氏)……藤田佳久

第2巻 中国を歩く

- 一 東亜同文書院の中国調査旅行日記記録と『中国を歩く』をめぐる……藤田佳久
- 二 一九二三年の中国調査旅行記録
- 一 中北支鉄道沿線輸送倉庫業調査旅行日記
- 二 京漢、京奉沿線企業貿易調査旅行日記
- 三 京漢、京綏、津浦沿線経済調査旅行日記
- 四 湘蜀重要物産調査旅行日記

第3巻 中国を越えて

- はじめに……藤田佳久
- 一 雲南奥地からビルマへのコース(二期、一九二八年)
- 一 土井三子雄執筆の旅行日記
- 二 山本日出一郎執筆の旅行日記
- 三 雲南より八莫(ビルマ領)に至る陸路状況
- 二 南支(華南)より安南(ベトナム)へのコース
- 一 雲南境までのコース(二期、一九二七年)
- 二 安南(ベトナム)北部から中部

第4巻 中国を記録する

- はじめに……藤田佳久
- 一 中国調査旅行日記
- 一 大連河をたどる(一九二二年)
- 二 漢水から洛陽へ(一九二六年)
- 三 三峡通航し、成都から秦嶺を越える(一九三〇年)
- 四 成都から松潘地方へ入る(抄)(一九三〇年)
- 五 山西の大地をめぐる(一九三〇年)
- 二 調査報告記録
- 六 「雲南省緬甸街道に於ける住民之生活状態」(一九二八年)
- 七 「南支那沿岸各港に於ける住民生活状態」(一九二九年)
- 八 「揚子江流域都市金融調査」(一九三〇年)
- 三 「中国を記録する」をめぐる
- 九 一九二〇年代末から一九三〇年における東亜同文書院の中国調査旅行
- あとがき……藤田佳久

注文票

年 月 日

藤田佳久 著 東亜同文書院 中国調査旅行記録シリーズ

取次番線・書店名	巻数・書名・ISBN	定 価	注文数	発行元
	⑤ 『満州を駆ける』 ISBN978-4-8350-6838-1 C3025 ¥8400E	本体 8,000 円+税	冊	不二出版
	① 『中国との出会い』 ISBN4-470-45040-5	本体 2,718 円+税	冊	
	② 『中国を歩く』 ISBN4-470-45043-X	本体 7,500 円+税	冊	
	③ 『中国を越えて』 ISBN4-470-45047-2	本体 6,000 円+税	冊	
ご担当	④ 『中国を記録する』 ISBN4-470-45048-0	本体 6,200 円+税	冊	

*第1巻～4巻の版元は大明堂ですが、今後はすべて小社で取扱います。

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-2-12
電話▶ 03-3812-4433 ファクス▶ 03-3812-4464
振替▶ 00160-2-94084